

2024. 9. 24

大型公共施設建設特別委員会

# 四ツ池公園運動施設の整備方針に基づく 検討調査業務の中間報告について

市民部スポーツ振興課

# 1. 目的

- 四ツ池公園運動施設整備構想の検討にあたり、浜松球場の代替球場の可能性について、既存球場を中心に整理
- 検討手順は以下のとおり
  - ①現状を整理
  - ②想定される整備メニューを整理
  - ③施設別に改修概算費用等の整理
- 今回は、検討内容について共有、ご意見をいただきたい。

## 2. 条件の整理

### (1) 四ツ池公園運動施設の整備方針について（一部抜粋）

- 1 四ツ池公園は、陸上競技場を整備する。
- 2 陸上競技場は、公認2種以上の施設とし、サブトラックを併設する。
- 3 四ツ池公園内の現野球場の機能は、静岡県において整備される遠州灘海浜公園篠原地区の野球場で担うこととし、市が整備する野球場は、既存の野球場の機能向上も含め、高校野球の大会が開催できる規模とする。

### (2) 整備モデルの前提条件

- 検討対象は、市内の硬式野球の利用が可能な既存施設
- 整備レベルは、高校野球の大会が開催可能な規模、機能
- 比較のため、同規模の施設を新設した場合の概算費用も積算

## 【参考】公認硬式・軟式野球場の比較

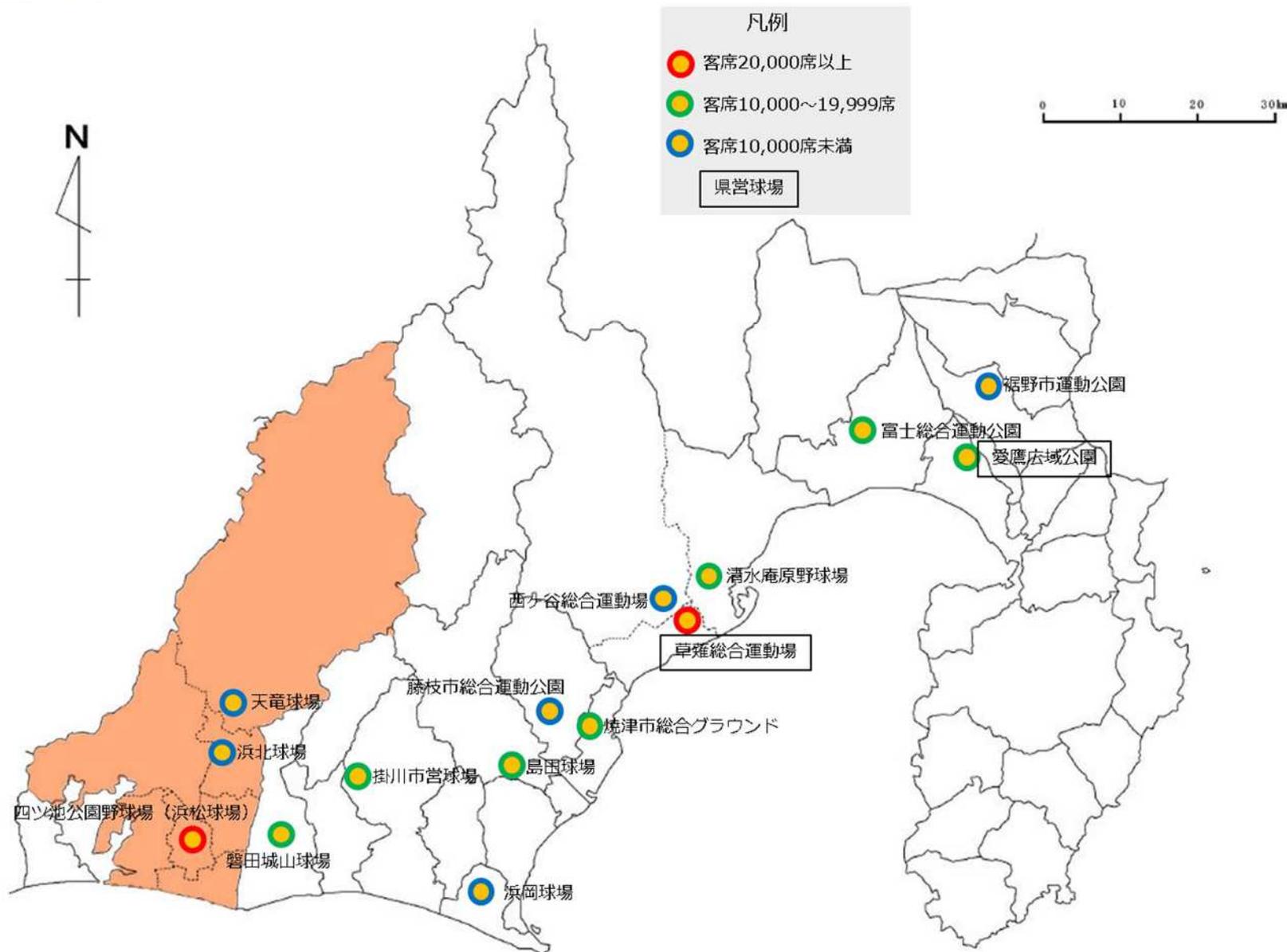
出典：公認野球規則、JIS Z 9110

	硬式		軟式
	プロ野球	公式競技	
野球場の向き	本塁から投手板を経て二塁に向かう線が東北東に向かっていることが理想		
ピッチャープレート ～ ホームベース	18.44m		
各塁間	27.431m		
ホームベース ～ バックネット	18.288m以上を推奨		
ホームベース ～ レフト・ライト	97.534m以上が優先的に望まれる		91.44m以上
ホームベース ～ センター	121.918m以上		115.82m以上
面積	≒14,000㎡～	≒13,500㎡～	≒10,500㎡～
内野照度	2,000Lx	1,500Lx	750Lx
外野照度	1,200Lx	800Lx	400Lx
観客席照度	50Lx		20Lx

◎代替施設となる高校野球が開催可能な球場の検討にあたっては、一定の必要な面積や機能を有する既存の硬式野球場をベースに検討

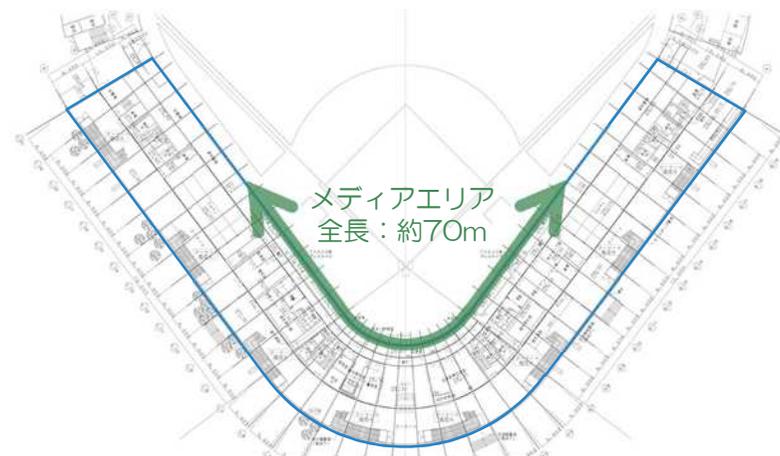
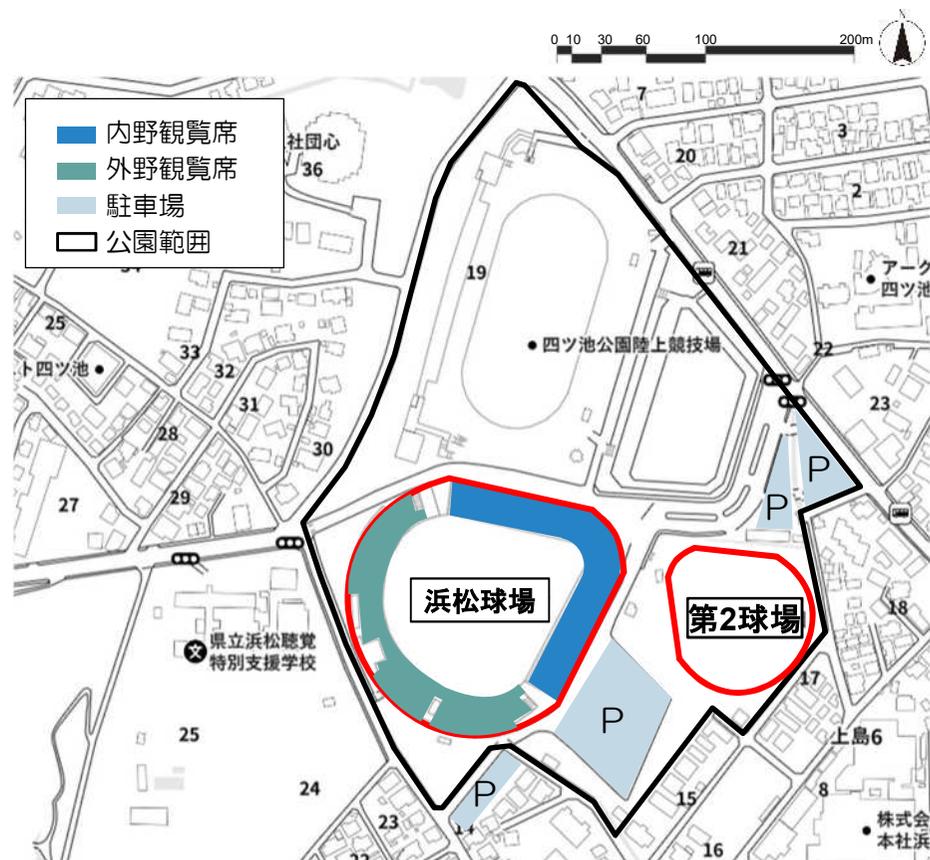
### 3. 静岡県内・浜松市内の硬式野球場

#### (1) 静岡県内の主な硬式野球場の分布図



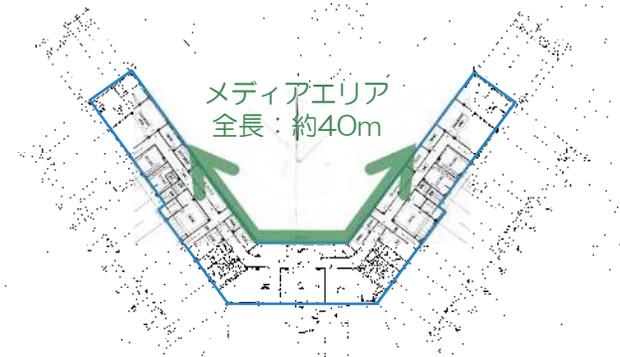
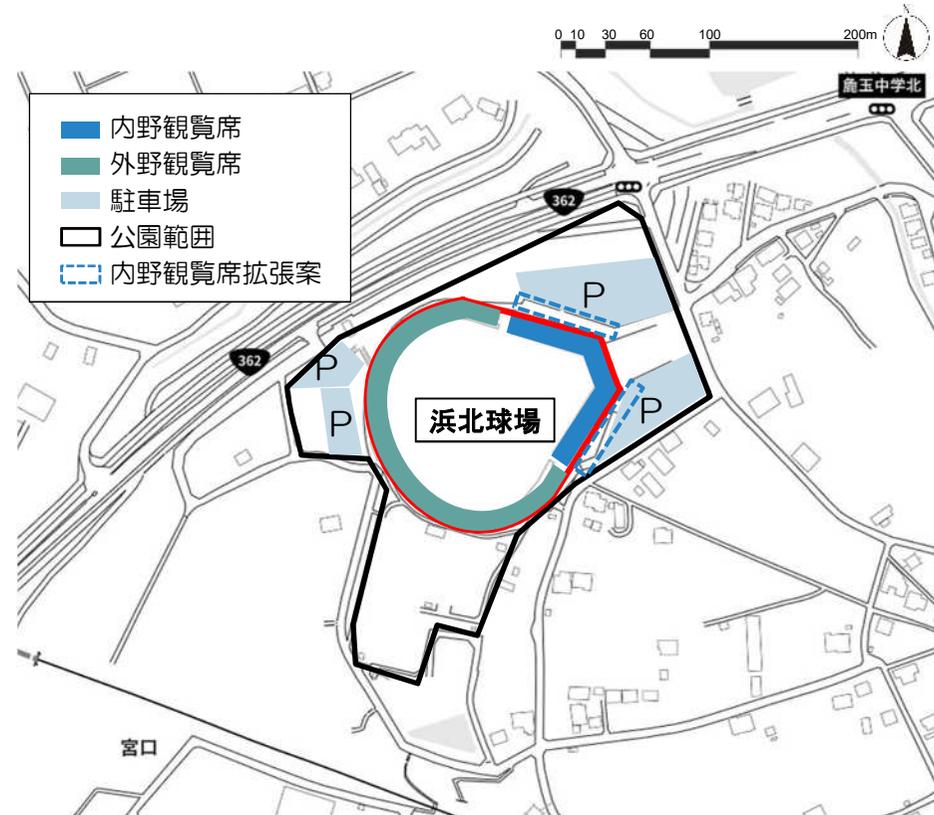
## (2) 既存球場の概要 ① 浜松球場

項目	既存球場の概要
通称	浜松球場
正式名称	四ッ池公園浜松球場
所在地	中央区上島六丁目19-1
完成年月	昭和54年4月30日 リニューアル平成16年3月1日
公園面積	約104,000㎡ (ｽｯﾌﾟ-ｱﾘｱ)
グラウンド面積	12,659㎡
本塁から距離	両翼99.1m センター122m バックネット18.3m
収容人員	26,000人
内野観覧席	11,220人 (ベンチ)
外野観覧席	14,780人 (階段、芝生)
観覧幅	約70m
諸室床面積	約2,600㎡
駐車場	普通220台 大型10台



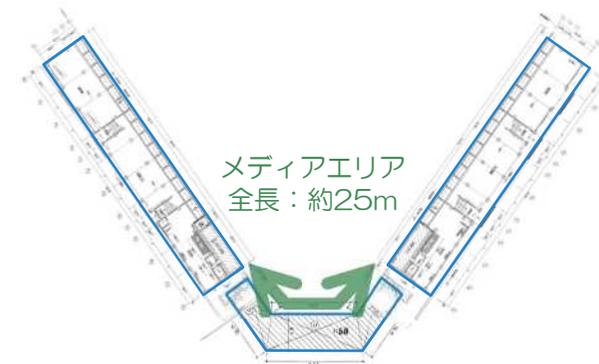
## ②浜北球場

項目	既存球場の概要
通称	浜北球場
正式名称	明神池運動公園野球場
所在地	浜名区宮口391番地の5
完成年月	平成元年12月
公園面積	約46,000 m <sup>2</sup>
グラウンド面積	12,579m <sup>2</sup>
本塁から距離	両翼91m センター120m バックネット18.4m
収容人員	5,430人
内野観覧席	2,430人（ベンチ）
外野観覧席	3,000人（芝生）
観覧幅	約40m
諸室床面積	約1,700m <sup>2</sup>
駐車場	普通217台 大型0台

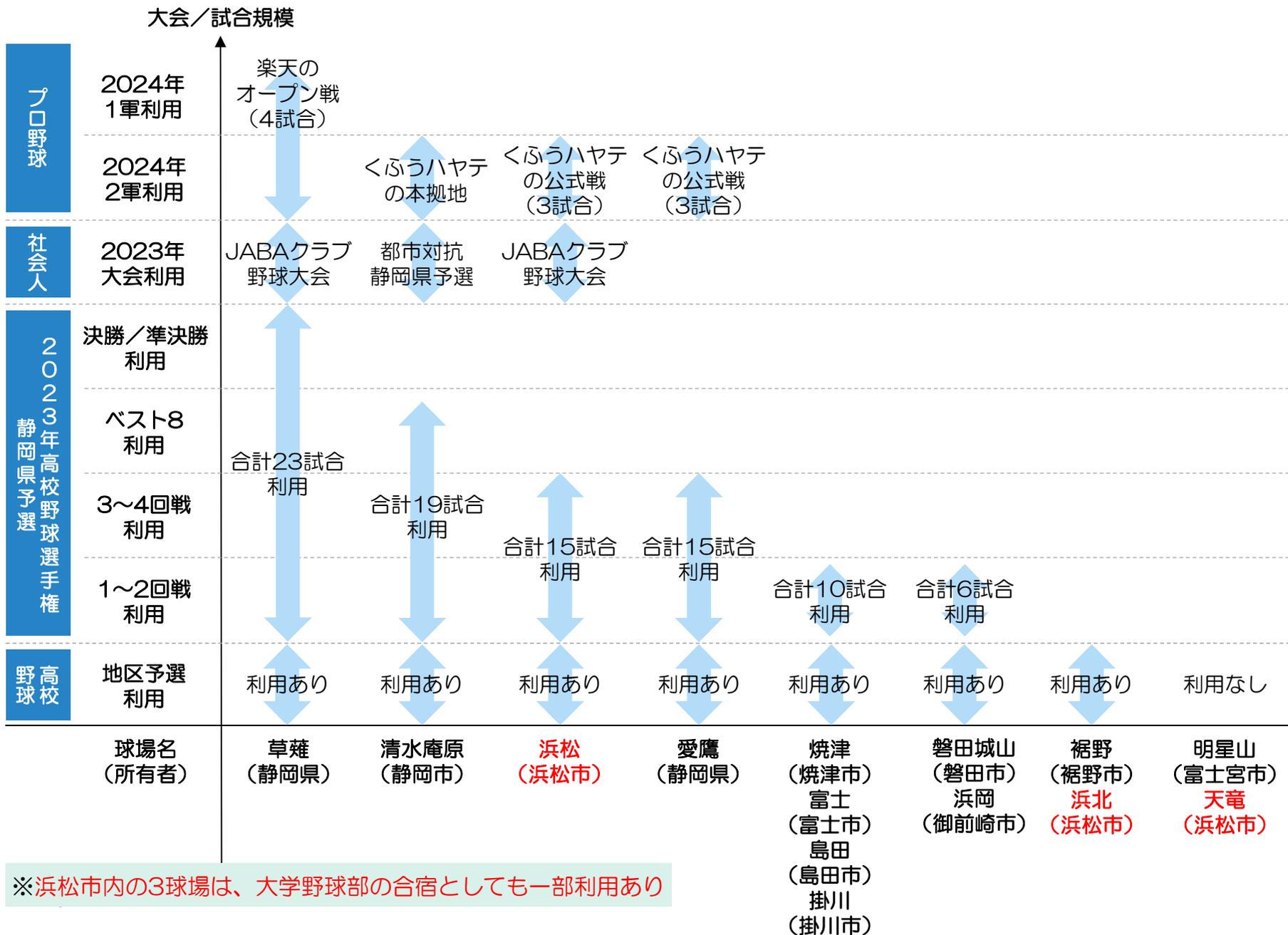


### ③天竜球場

項目	既存球場の概要
通称	天竜球場
正式名称	船明ダム運動公園野球場
所在地	天竜区船明2660
完成年月	平成5年5月13日
公園面積	約60,500㎡
グラウンド面積	12,648㎡
本塁から距離	両翼95m センター120m バックネット18.5m
収容人員	4,128人
内野観覧席	2,628人（ベンチ）
外野観覧席	1,500人（芝生）
観覧幅	約25m
諸室床面積	約1,300㎡
駐車場	普通200台 大型10台程度



# 4. 静岡県内の硬式野球場の現状と位置づけ



## 5. 既存球場に必要な整備概要

	主な整備項目	
1	フィールド整備	・基本的な競技面整備、夜間照明、防球ネット等
2	スタンド増築	・既存数に対する増築に係るコスト（内野・野外含む） ・スタンド安全補強等
3	諸室増築／改修整備	・必要諸室等の増築、内外装更新、ユニバーサル改修、照明設備、電光掲示板設備等 ※天竜球場は既存諸室が少ないためコストに差がある

- ・新築した場合の概算費用は、想定する施設規模と同規模設の建設費を参考に物価スライド等を反映し算出
- ・改修費は、設計をしていないことから、高校野球が開催できるスペックへの機能向上改修を想定し、他事例から上記整備項目の想定改修費をそれぞれ積算し積み上げたもの
- ・全体の改修費額については、一般的な新築工事費の概ね1／3範囲内とされることから妥当

### 【参考球場】

静岡市清水庵原球場（規模：1.0万人 ※うち内野スタンド0.4万人：当時の建設費60億円）

## 6. 高校野球開催に必要な整備（案）

項目	球場整備メニュー【案】
運営諸室【床面積】	・運営諸室の増設 【2,000㎡】
メディアエリア 【メディアエリア全長】	・メディアエリア増設、TV中継対応【50m】
選手諸室	・選手福利諸室の増設
ブルペン	・ブルペンの増設
観客席 総収容人数（人）	・観客席の増築 【10,000人規模】
内野観客席（人）	・内野観客席の増設 【5,000人規模】
外野観客席（人）	・外野観客席の増設 【5,000人規模】
夜間照明	・照明灯の設置
スコアボード	・電光掲示板の設置
フィールド寸法	・公認野球規則満たす
駐車場台数	・200台
大型バス	・10台
ウォーミングアップ	・ウォーミングアップスペースの設置

# 7. 市内の既存施設との比較

整備(案)規模

項目	球場整備 メニュー【案】	(参考) 既存球場の状況		
		浜松球場の現状	①浜北球場の現状	②天竜球場の現状
基本改修工事方針	浜松球場の現状と浜北/天竜球場の現状を比較して、不足する機能を改修工事する			
運営諸室 【床面積】	運営諸室の増設 【2,000㎡】	記者室/医務室 /売店/審判員室等 【約2,600㎡】	会議室/管理室 /医務室等 【約1,700㎡】	会議室/管理室 /医務室等 【約1,300㎡】
メディアエリア 【メディアエリア全長】	メディアエリア増設 TV中継対応 【50m】	記者/放送/本部/ TVカメラ/多目的室 【約70m】	記者/放送/ 来賓/役員室 【約40m】	記者/放送/ 役員室 【約25m】
選手諸室	選手福利諸室の増設	更衣/シャワー 素振り/トレーナー室	更衣/シャワー室	更衣室
ブルペン	ブルペンの増設	あり	なし	なし
観客席 総収容人数(人)	観客席の増築 【10,000人規模】	26,000	5,430	4,128
内野観客席(人)	内野観客席の増設 【5,000人規模】	椅子+ベンチ型 11,220	ベンチ型 2,430	ベンチ型 2,628
外野観客席(人)	外野観客席の増設 【5,000人規模】	階段+芝生 14,780	芝生 3,000	芝生 1,500
夜間照明	照明灯の設置	照明灯6基	なし	なし
スコアボード	電光掲示板の設置	電光掲示板	手動式	手動式
フィールド寸法	公認野球規則満たす	公認野球規則満たす	公認野球規則外	公認野球規則外
駐車場(台)	200	普通220	217	約200
大型バス(台)	10	10	0	10程度
ウォーミングアップ	ウォーミングアップ スペースの設置等	第二球場あり	なし	なし

## 8. 施設別の改修プラン比較

項目	浜松市で整備		
	①浜北球場に整備	②天竜球場に整備	【参考】新設整備
パターン	①浜北球場に整備	②天竜球場に整備	【参考】新設整備
改修／新設	改修		新設
整備費（億円）	26	30	85＋土地購入費
工期（年）	1	1	2
機能拡張可否	隣接テニスコートを転用可能	同敷地内のグラウンドを活用可能	—
既存球場の諸室	【約1,700㎡】 会議室／管理室／医務室等	【約1,300㎡】 会議室／管理室／医務室等	—
既存球場の利用状況 （2023年度）	高校野球の静岡県大会 西部地区予選で利用	高校野球の公式戦 利用なし	—
浜松駅からの所要時間	電車＋徒歩で約60分 （車で約40分）	電車＋バス＋徒歩で約2時間 （車で約50分）	—
駐車場台数 （大会時使用可能台数）	217台 （187台）	約220台	—
交渉要否	不要	不要	必要

## 9. 考察

- 浜北球場及び天竜球場いずれも、改修により代替施設として活用は可能
- 球場に限った条件比較では、浜北球場が優位
- ただし、既存の浜松球場と比較した場合は以下について留意が必要

### 【留意点】

- 都市部からの公共交通機関によるアクセス
- サブグラウンドがない（ウォーミングアップスペースで対応）
- 駐車場の分散化 など

# 10. 今後の工程

## 【STEP2】

### 整備方針の検討

- ・他自治体の状況やニーズ調査（アンケート）、敷地内の配置検討等を踏まえ、陸上競技場の規格や規模等の整備方針を検討予定。
- ・また、野球場についても高校野球大会の開催を前提とした整備方針の検討を行う。
- ・なお、整備方針の検討については、以下の項目を行う。
  - 敷地内全体のゾーニング
  - 動線計画
  - 施設配置
  - 各整備ケースのメリット・デメリット

### 計画図の作成

- ・再整備後の配置図、全体のゾーニング図、整備イメージパース等を作成。

## 【STEP3】

### 事業スキーム検討

- ・2回の民間ヒアリングも踏まえ、事業スキームの検討を行う。その際は、いくつかのスキームケースを検討し、定性評価を行う。

### 民間ヒアリング（第2回）

- ・第1回ヒアリングの結果を踏まえ、事業スキームの詳細検討を行い、改めて民間意見を収集予定。
- ・対象企業については、プラットフォームを活用し地域企業からの意見も収集予定。

### 事業手法評価

- ・事業手法に関して民間事業者ヒアリングを含む定性評価及び定量評価を加味し総合評価を行う。

### 事業スケジュールの作成

- ・陸上競技場、野球場、付帯施設に係る全体の工程スケジュールの作成を行う。



現在

# 11. スケジュール

- ・9月～「四ツ池公園運動施設の整備構想」確定・公表(当初)
- ・整備構想の確定にあたって、ご意見の反映を含め、更に情報の共有、協議する機会が必要



◎今年度中 「四ツ池公園運動施設の整備構想」確定・公表(変更)

- ・本特別委員会にて引き続き、ご議論をいただきたい。

月	協議事項
10～ 1	整備構想内容の提示と協議
2	「四ツ池公園運動施設の整備構想」最終案提示・協議
3	「四ツ池公園運動施設の整備構想」確定・公表